

【壮瞥町】

校務DX計画

本町においては、校務支援システム（C4t h）を導入し、教員の負担軽減等目指し校務DX化の推進を図ってきており、今後もさらなる校務DX化を進めるため、「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言及び「GIGA スクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえ、次の取組を行う。

（１）クラウドツールの活用

教職員と児童生徒間におけるデータ共有等の各種教育活動において汎用クラウドツール等を活用しており、更なる活用の推進を図る。

また、教職員と保護者間の連絡事項や提出物などのデジタル化進め、日常的に活用することを目指す。

（２）不必要な手入力作業の廃止

校務支援システムへの名簿情報の入力作業において、「紙からの転記」「二重登録」等の不必要な手入力作業がないか点検し、各種データとの連携方法を検討する。

（３）FAX・押印の見直し

FAX と押印の見直しは、校務の効率化、ペーパーレス化、教員の働き方改革のために必要なことであることから、各書類の取扱いについて検討を行い、各関係機関等に対しても慣例の見直しを求めるなど、継続的に働きかけを行う。

（４）校務支援システムのクラウド化の検討

現在の校務支援システムはオンプレミス型で運用しており、教務、保健、成績管理等の幅広い業務で活用している。

今後、校務支援システムのクラウド対応が可能となったときには、先行する自治体の事例等確認しながら、導入に向けた検討を行う。